

観察1 種子を観察してみよう。



重力の力で落下すると同時に風の力も使う植物



(長T) マツボックリをニッパーでやってみたが、リスのようにきれいにできなかった。リスはすごいと思った) 残ったマツカサを**森のエビフライ**という(動物のフィールドサイン) フンや足あと、食事後などで存在がわかる。ここにリスが来ていたことになるね。

種子の散布(開いたマツカサの揺れ・リスがマツカサをばらすとき、種子を落下させてるとき)



テーダマツ(アメリカ産・パイオニア植物・成長が早く、松くい虫対策で日本へ・ただ、風に弱かったようであまり活用されていないらしい)

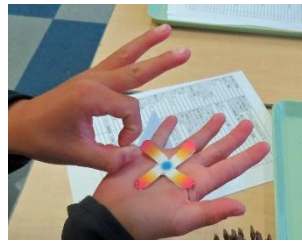
マツとカエデ(モミジの仲間)の種子を落下させてみよう。

高いところから落としてみよう(投げないでよ)



マツもカエデも種子がクルクル回りながら落下して、風があると遠くまで飛ぶ。種子の形がブーメランや竹トンボの形に似ている。

◎ 植物の種子の形を参考にして作られたブーメラン



◎ 実験準備や作品作りで残った木くず(いわゆるゴミ)でミノムシを作ってみた。

★つるす糸を滑りやすい釣り糸を使ったので、結び方も体験することにした。目もつけてみよう。



学びの学習
(教えることも学びあい)
一人学習もよいが学びあいは楽しいよ

